

アフリカ子どもの本プロジェクト 2009年度活動報告ならびに今後の活動予定

1、概況

図書展「アフリカを読む、知る、楽しむ 子どもの本展」が、アフリカン・フェスタをはじめ、全国各地で開催されました。2009年12月18日には、代表さくまゆみこのことが朝日新聞文化欄でとりあげられ、プロジェクトの活動についての認知度が全国的に高まった年でした。

しかし、当プロジェクトのきっかけとなった本『エンザロ村のかまど』（福音館書店）に登場し、ケニアの2つの図書館を始めるにあたっての最大の功労者であった、「少年ケニアの友」の岸田袈裟氏が、2010年2月23日に亡くなりました。また、同書のイラストレータで、当プロジェクトの中心的存在だった会員沢田としきが2010年4月27日に逝去しました。大きな悲しみの中、プロジェクトの目的に向かって、これからも会員一同、着実に活動を続けていきたいと思えます。

2、会員数

2008年度末の会員数は35名でしたが、昨年度からの継続会員を含め、図書展、講演会などを通して多くの賛同者が会員として加わり、年度末の会員数は69名となりました。

3、2009年度活動報告(2009.4-2010.3)

3-1 運営会の開催

毎月1回運営会を持ち、選書や図書展、イベント等の打ち合わせを行いました。

3-2 ケニアの2つのドリームライブラリーへの支援

エンザロ・ドリームライブラリー、シャンダ・ドリームライブラリーの、2つのケニアの図書館に対し、現地の新聞の購読料やライブラリアンへの謝礼を支援しています。

また、図書館やライブラリアンの役割について英語とスワヒリ語で説明した、図書館の利用者向けパンフレットを作成しています。

3-3 「アフリカに関する児童書 おすすめリスト」追加本の検討

昨年度末現在で93点あった「おすすめリスト」ですが、会員の作家、翻訳家、司書、研究者、編集者などが新しく出版された児童書の検討会を持ちました。

2009年度末現在108点となったおすすめの本はすべて、ホームページ上で書影、書誌事項とともに紹介するようになりました。

3-4 「アフリカを読む、知る、楽しむ子どもの本展」開催

昨年度より始まった図書展はたいへん好評で、昨年度5か所だったのに対し、本年度は以下の10か所で開催されました。おすすめリストに加わった本を追加し、新たな情報をもとに資料パネルを作りなおすなど、内容も随時バージョンアップしています。展示や講演、イベントのようすは、ホームページをご覧ください。

- | | | |
|-------------|-----------------|-----------------|
| ・横浜市立磯子図書館 | 2009年3月20日～4月3日 | |
| ・杉並区阿佐谷図書館 | 2009年4月24日～28日 | |
| ・アフリカン・フェスタ | 2009年5月16、17日 | 外務省主催、横浜・赤レンガ倉庫 |
| ・遠野市 | 2009年5月23、24日 | 遠野市役所主催 |

- ・盛岡市西部公民館 2009年6月4日～11日 読書サークル まいまいの会主催
- ・高知こどもの図書館 2009年7月4日～25日
- ・熊本県立美術館分館 2009年9月29日～10月4日
- ・宮崎県・木城えほんの郷 2009年10月7日～17日
- ・中野区立中央図書館 2009年10月22日～25日
- ・子どもの本フェスティバル 2010年3月20日～22日 ゲートシティ大崎（東京都品川区）

※次の出版社様から本年度追加の展示用図書をご寄贈いただきました。お礼申し上げます（50音順・敬称略）。
岩波書店、さ・え・ら書房、汐文社、日経ナショナルジジオグラフィック、ネット武蔵野、文溪堂、ほるぶ出版、三起商行、リブリオ出版

3-5 支援グッズの製作・販売

前年度製作した会員の画家（沢田としき、伏原納知子、向井晶子、たかぎちほ）による絵ハガキセットに加え、オリジナルTシャツ（沢田としき絵・白黒それぞれS・M・Lサイズ）を製作し、展覧会場やホームページで頒布しています。また、ブルキナファソの民芸品を購入し、展覧会にて販売しました。

3-6 ホームページの更新

「おすすめリスト」、展覧会の情報や報告など、ホームページを随時更新しました。

4、2010年度の活動予定

4-1 運営会の開催

毎月1回運営会を持ち、選書や図書展、イベント等の打ち合わせを行います。

4-2 ケニアの2つのドリームライブラリーへの支援、および、アフリカへの図書提供

引きつづき寄贈本や寄付を集め、蔵書の充実をはかるとともに、図書館が人々に活用され地元に根づいていくよう、図書館の利用状況の報告を受けながら、運営費の援助や、図書館運営への提言を行っていきます。

また、ザンビアの青年海外協力隊員よりコミュニティースクール巡回における読み聞かせ活動のための絵本寄贈の依頼があり、英文絵本を提供する予定です。アフリカに本を届ける活動をしている他のNPO団体等にも、今後機会があれば協力していきたいと考えています。

4-3 「アフリカに関する児童書 おすすめリスト」追加本の検討

引きつづき、新しく出版されたアフリカに関する児童書の検討会を定期的に行い、リストの充実につとめていきます。

4-4 「アフリカを読む、知る、楽しむ子どもの本展」開催

すでに以下の4か所での開催を予定しています。ひきつづき、貸出団体を募集しています。

- ・安曇野森のおうち 2010年5月21日～7月13日 長野県
- ・アフリカンフェスタ 2010年6月12日～13日 神奈川県横浜市（外務省主催）
- ・串間市立図書館 2010年8月21日～9月20日 宮崎県
- ・みどり市立笠懸図書館 2010年9月28日～10月29日 群馬県
- ・中央区 2010年10月31日～11月7日 東京都中央区
- ・可児市創造文化センター 2011年3月20日～3月21日 岐阜県

4-5 支援グッズの製作・販売

絵ハガキセット、オリジナルTシャツ、アフリカの民芸品などを販売し、活動資金としていきます。

4-6 ホームページの更新

随時更新して、プロジェクトの活動を伝えていきます。

4-7 日本の子どもたちへの広報活動

「アフリカを読む、知る、楽しむ子どもの本展」のほかにも、機会をとらえて、引き続き日本の子どもたちにアフリカのことを知ってもらおう活動を続けていきます。

4-8 アフリカで出版されている本の収集

今年度は新たに、アフリカ各国で出版されている本の収集に力を入れていきます。アフリカの出版事情を知るとともに、アフリカ発の本をアフリカや日本で紹介していきたいと考えています。

5、会計報告 (2009.4.1~2010.3.31)
(省略)

6、メディアでの紹介

- 2009年7月1日 AMITY 39号 (藤和ハウス)
「特集図書館を楽しもう」の中に、沢田としきがケニアの二つのドリームライブラリーを紹介したコラムが掲載されました。
- 2009年6月15日 NHK ラジオ第一
「私も一言! 夕方ニュース」に、さくまゆみこが登場し、「アフリカ子どもの本プロジェクト」の紹介をしました。
- 2009年12月18日 朝日新聞
2009年12月5日にJBBY主催で行われたさくまゆみこの講演会の取材に基づき、「アフリカ子どもの本プロジェクト」の活動が紹介されました。
- 2010年1月31日 しんぶん赤旗日曜版
代表さくまゆみこが「きりり きらり」のコーナーでとりあげられました。

ドリームライブラリー
熱心に勉強しているのが、どの学校にも、教科書以外の本がない。そこで英訳した「エンザロ村のかまど」を三十冊、「エンザロ村の子どもたち」をよつという二冊に、日本の出版社や出版エージェンシーなどに呼びかけて、翻訳の児童書を寄贈してもらい、ケニアの子どもたちに送ろうと、話がだんだん膨らんでいった。さくまゆみこを中心に、子ども本の翻訳家、編集者、画家などが集まって、およそ80冊の絵本や児童書をエンザロ村へ送った。エンザロ村では、作田さん達のNGO石と豊かとは言えない土地に沢田の友人たちが自給自足で暮らしている。いつかあんな電気も水道もない。いつかあんな小学校には、子どもたちが沢田で、エンザロ村で、エンザロ村で生まれた。

そして、そのことを日本人に伝えよう。また、日本で出版されているアフリカ関係の絵本原画を展示し、アフリカ関係の児童書を一堂に集めた展示をしよう。アフリカの絵本原画と児童書が中央教育委員会の協力で開催された。その後も、日本で出版されているアフリカ関係の児童書を選別して、おすすめの本のリスト作

AMITY 39号 (2009年7月)

2009年12月18日 朝日新聞

異国に思い馳せてみよう
「語りの文化」息づくアフリカ
2010年は国民読書年

さくまゆみこさん 1947年生まれ。出版社勤務を経て翻訳家に。「シャロットのおくりもの」(あすなろ書房)など訳書多数。

さくまさんおすすめ5冊
さくまさんに、アフリカを知る一歩となる5冊を挙げてもらった。「アフリカの音」(講談社)「ハンダのびっくりにプレゼント」(光村教育図書)「カマキリと月 南アフリカの八つのお話」(福音館書店)「ほくはマサイ—ライオンの大地で育つ」(さ・え・ら書房)「たのしいおまつり—ナイジェリアのクリスマス—」(成成社)一写真いずれも「アフリカ子どもプロジェクト」の101冊のリストに入っている。リストはホームページ(<http://www.hananotanet.com/frame/frame.html>)で見られる。プロジェクトは、これらの本や現地の様子を伝えるパネルをセットで貸し出し、各地で「アフリカを読む、知る、楽しむ子どもの本」展を開催している。今年は横浜、東京、盛岡、高知、熊本、宮崎など全国10カ所を巡回した。問い合わせはメール (amai_3@yahoo.co.jp) で。